



神代之風



発行：玉置神社
 発行人：弓場 季彦
 TEL. 0746-64-0500
 FAX. 0746-64-0429

ご案内

例大祭

霧につつまれた神秘の山の奥へ響きわたる祭りの木霊

十月二十四日(木)
 午前九時三十分より斎行

催事

- 餅つき踊り
- 龍笛「出口操玲」ミニット
- OSK日本歌劇団「O.G.」
- …盆踊り「恋しくて十津川」

水害慰霊碑墓誌除幕式

明治22年8月の大水害で犠牲となられた方々をお慰めするため、紀伊半島森林植物公園内に水害慰霊碑が建立されている。この大水害以降に水害、台風により犠牲となられた方を偲びお慰めするための水害慰霊碑墓誌を新たに設けられ、8月20日水害慰霊祭当日除幕式が執り行われました。玉置神社が祭式を務めさせていただきました。



宮司 FM西大和
 サテライトスタジオ
 に生出演

奈良県中部地域を受信圏内とするFM西大和に王寺町内のサテライトスタジオで出演、十五分の予定がご好意により延長までしていただきました。

担当パーソナリティの熟練した問いかけなどに助けられ、玉置神社のことで、承知している範囲内で十津川村のことなど勢一杯発信することができました。



なお、護良親王を守り、この玉置山で一人散って逝った片岡八郎公は、現・王寺町のご出身です。

本願寺大谷暢順法主ご参拝

本願寺大谷暢順法主がご来社された。本殿で正式参拝され境内も丹念に回られ、御祭神、神代杉に代表される杉の巨樹群、熊野詣とのかかわり、そして社務所、襖絵のことなど種々ご質問された。

奥深く幅ひろいおたずねに逆に教えていただきました。同行されていた令夫人に、自らご説明されることもありました。

法主には、かつてテレビでお話をしていただく機会がありました。令夫人は、音楽家としてもご活躍されており迫力ある演奏を拝聴することもできました。

過ぎ去った日々は、瞬時のことでありましたが、何度も思い出し噛みしめながらお迎えさせていただきます。

法主は、皇室と極めて近い方であられますが、また、護良親王を守り一人この玉置山で散った片岡八郎公の花折塚の「篆額」に「折華塚碑」を書いた三条実美公のひ孫にもあた



られます。この度、ご参拝いただき玉置神社史にページを加えていただきました。思いです。ありがとうございます。うございました。

書家 北原美麗さん 揮毫作品奉納

和歌山を中心に活躍する北原美麗さんが、平成23年9月に被った紀伊半島水害の復興を祈願して玉置神社境内でスケールも大きく揮毫し、その作品を奉納された。

文字は宮司の要請で「連!風の舞」。皆が手をつないで元気に未来に進んでいきましょうという気持ちを込めたフレーズだそうです。



新十津川町児童生徒 の皆さん研修で来社

7月24日31名が研修でご来社。参拝のあと境内一円を興味深々に巡っていた。

宮司の話もしっかりメモをとりながら聞いておられた。研修マネーも良く元気な子供さんたちでした。



玉置神社本殿で結婚式! 神代杉にも3000年の 愛を誓う

夏のある快晴の日、朝から神社内は大賑わい。新郎・新婦が参列者をはじめゆかりの方々のあふれんばかりの祝福を受けて新たなスタート。一般の参列者もこやかに目で参加。玉置山の神々もさぞお喜びでしょう。どうかお二人を永遠にお守りください。ありがとうございます。



盆踊りの灯(ともじび)

風屋地区では4年前に10年ぶりに盆踊りが復活された。今年も復活して4年目、4回目。盆踊りは延べ参加人数約150名。すっかり定着して平素は閑散とした地区が一気ににぎわう。暗い想念ではなく思い切り明るい想念で舞い踊る。ご先祖様方をお慰めし、楽しんでいただく。そしてご先祖様方からはパワーをいただき、地域の大地に浸みこませ、次へと引き継いでゆく。伝わり来しものには何かがございますね……。

OSK日本歌劇団

玉置山文化サロン

小学生の頃、春休みには必ず大阪へ春のどりを見に連れて行ってもらい、しばし夢の世界にひたっていた。近鉄あやめ池遊園地に拠点を移されても何度も通った。高校時代は宝塚歌劇に没頭。本気で演出家を志したが周辺から強烈な反対にあって断念。

さて、OSKは厳しい冬の時代に入った時期もあったが不死鳥の如くよみがえった。松竹座へ南座へと追っかけ最前席で大音響のサウンドも楽しみながら観劇。創立91周年を迎えたOSK苦難の時期(現在も決して楽ではないと思われませんが)もあったがよくしいでこられた。感無量。宝塚歌劇は来春100周年を迎える。文化はまず地域で大事に育てたいですね。・・・関西発の両文化どちらも頑張れ!

奈良フィルハーモニー管弦楽団

1985年に結成されたプロオーケストラである。オーケストラを維持してゆくことの困難さは、周知のことであり、どうか末永く活動していけるようにと祈る思いであったが、そんな心配は無用でした。奈良県内だけでなく近畿一円で演奏活動を続けておられる。

奈良では年2回定期演奏会を催されているが時として、ゲストの指揮者・演奏家にスーパー・スターも登場される。

このたび日本オーケストラ連盟にも所属されることとなったそうである。全団長をはじめ劇団員・関係者の喜びかばかりと思う。地元ファンとしてもこれは嬉しいですね。奈良フィルハーモニー管弦楽団よいつまでも!

薩摩琵琶奏者 関川鶴祐氏奉納演奏



薩摩琵琶奏者として武満徹の名曲「ノウンバー・ステップ」を演じるなど長年活躍数々の賞にも輝いてこられた関川鶴祐氏が8月24日「勸進帳」を奉納演奏された。当初、平家物語を演じる予定であったが、十津川川の災害からの復興を祈願するという想いも強く、演目は「勸進帳」に変更された。「勸進帳」がその想いに何故応えるか説明する紙数はないが、迫力ある語りと演奏が玉置の山々に木霊して行き誠に圧巻。参拝者の皆さん赦として声無しのようでした。伊勢神宮遷宮祭においても演じられる予定と伺っています。

全国地域安全運動のお知らせ

10月11日(金)から20日まで全国地域安全運動が行われます。全国地域安全運動とは、犯罪の発生を抑止し、犯罪の起きにくい社会づくりを推進することによって地域社会の安全を確保する運動です。

地域社会の安全を確保するためには、地域のみなさんや事業者、自治体、防犯協会、防犯ボランティアの方々協力していただき、自主的な防犯活動を推進してもらうことが欠かせません。

社会の規範意識の向上や絆の強化を図り、社会が丸となって、地域社会の安全の確保に取り組む「安全・安心なまちづくり」を推進するため、みなさんのご協力をお願いします。

(五條警察署十津川分庁舎より)

神社日誌抄

8月1日	出雲大杜玉置教会月次祭
8月7日	宮司 FM西大和出演
8月8日	大日堂杜例祭盛大に執り行う
8月9日	雅楽龍笛教室開催(体験参加してみませんか)
8月11日	奈良県北葛城郡王寺町の平井康之新町長他5名が参拝
8月15日	三柱神社月次祭
8月20日	水害慰霊祭墓誌除幕式が二十一世紀の森・紀伊半島森林植物公園にて執り行われた
8月24日	本社月次祭
8月28日	薩摩琵琶奏者関川鶴祐師が演奏を奉納された
8月29日	宮司 出雲大杜において講習会参加
8月29日	奈良県教育委員会文化財保存課の方々が社務所調査のため来社
9月1日	元県議会議長新谷紘一先生一行4名来社
9月4日	出雲大杜玉置教会月次祭
9月11日	写真家 早津忠保氏 新作品集持参し説明の為来社
9月11日	五條警察署十津川分庁舎指導による「さつまた」防犯訓練が行われた
9月15日	三柱神社月次祭
9月16日	弓神楽講習会(台風18号の為中止)
9月17日	交通安全のためマスコットキヤラクターグッズの祈祷が行われた
9月24日	本社月次祭

襖絵紹介(4)

「御殿の間」橋保春の花鳥図

狩野派は室町時代に大和絵と漢画の手法を融合させて、その様式を確立したと言われる。狩野元信の「四季花鳥図屏風」には花鳥と景物が織りなす「花鳥図」の典型が見える。しかし、江戸時代には琳派など他派の画風に学んだ作品も現れる様である。

琳派の作品では、例えば伊年印の「四季草花図屏風」などに見られる様に、岩や水流などの景物は描かれず直接草花のみで画面を構成する手法が取られる。また、江戸時代には博物学の隆昌と共に「博物絵画」的な作品が登場する。伊藤若中の「百花図」などはその例であろう。



橋保春は「御殿の間」の十一面の杉戸・襖に四十二種の花弁、そして禽鳥を描いている。しかし、画面に景物は描かれず花鳥も四季の移り変わりを表現したものではなさそうである。保春は御殿の間の花鳥図で狩野派の様式に琳派の画風と博物絵画の要素を融合させている様に見える。

玉置神社に孤高と矜恃を見た・・・

フリージャーナリスト
元読売新聞社会部記者 水野 成之

国の重要文化財に指定されている玉置神社社務所の華麗な極彩色花鳥図の前に立って、言葉が発することさえできなかった。文化財を守るNPOに属し、各地の文化財を目にしてきたが、これほど「孤高」という形容がふさわしい江戸期絵画は初めてだった。

「孤高」について国語辞書は「ただひとり、他から離れてぬけ出て、けだかいこと」と書く。これに私は「矜持(きょうじ)」を加えたい。矜持は、簡単に言えば誇りだ。

玉置神社は、創立は崇神天皇の時、宝剣を玉置山に立てて王城の火防鎮護としたことに始まると伝える。平安時代に神仏混淆となり、その後、修験の霊場として栄えた。

江戸享保期に聖護院の支配になり、別当坊高牟婁院(たかむろいん)が置かれた。社務所はその主殿として文化元年(1804)に建てられた。書院風内部中に南、北二列十室をとり、部屋の間仕切り杉戸あるいは杉板壁、襖障子に金霊極彩色で花鳥、孔雀、松などを描き、画題が各室の呼び名に。

襖の落款から狩野派絵師橋保春の筆であることが知られる。

誰もが、この「国の重要文化財」を「手に触れる近さ」で拝観できる。

神社の、他人を「信じる」精神の表れと受け取れるかもしれない。だが、私には悲鳴が聞こえる。情を知る新しい宮司さん。きつと障壁画の「古い」に、涙を流しているにちがいない。この孤高の美術を如何に守るか。余りに重い難題が早くも待ち受ける。

防犯の窓(3)

防犯訓練

防犯訓練
留意事項…犯人・不審な人間は捕まえようとするな。自分を守ることが第一、まずは110番。刺股使用方法…相手の心理状態を説明しながら、守るの立場でいかう使用すれば効果的か村田所長、河野巡査部長はじめ4名の警察ご当局方々の模擬演技そして神社職員に実技指導をしてくださいました。



練り上げられた緻密なテクニクに驚き安心もありました。ありがとうございました。

崇敬会入会のご案内

玉置神社崇敬会は全国をはじめ世界からの玉置神社を崇敬する人々の集いです。ご入会いただきますと様々な特典があります。

詳しくはこちらにお問い合わせ下さい。
玉置神社社務所

電話 〇七四六―六四―〇五〇〇
FAX 〇七四六―六四―〇四二九